かすみがうら

第233号
＜毎月１日発行＞
■ 発行所 ■
霞ヶ浦医療センター
かすみがうら編集局
〒300-8585
土浦市下高津2-7-14
Tel：029-822-5050
Fax：029-824-0494
E-Mail & WebSite
201-kasumi.main@mail.hosp.go.jp
https://kasumigaura.hosp.go.jp/

ウイズコロナに向けて

＜院　長＞
～鈴木　祥司～

症状の古い方は、今までと変わらない医療を提供することが必要です。新型コロナウイルス感染症の歴史は、進化の歴史でもあります。ワクチンの開発や、RNA医療の実用化など、医療の進歩は、戦争や災害などの社会的な出来事をきっかけとして、急速に進んでいます。

ワクチンの開発は、1796年に天然痘に対するものが最初とされていますが、その後、ペニシリンの発見や、ポリオのワクチンの開発など、感染症の制圧に大きな役割を果たしてきました。

日本の医療は、戦後、結核や感染症の制圧を目指して、保健所を中心とした公衆衛生の活動が、医療の発展を支えてきました。

その後、高度成長期を経て、生活習慣病や、がんなどの慢性疾患が、医療の主な課題となってきました。

現在、イヤイヤ期真っ中の二歳の息子に振り回されるなかで、仕事が多い家事育児もすはりの夫にさ頼るこが、ちょっと頑張ってお・・・）

女性の一生にお寄添えるよう、産婦人科の仕事を通じて、お手伝いしたいと思っております。

新任医師のご紹介

＜産婦人科＞
～星野　沙也加～

この度、七月一日より産婦人科に赴任致します。宮崎県生まれ、熊本県育ちです。佐賀大学を卒業し、初期臨床研修を佐賀県で終了し、その後、宮崎県に戻り、九州を中心に、産科婦人科の転勤を繰り返しました。

筑波大学を卒業し、茨城県に入局しました。茨城県では、筑波大学の医師が、茨城県内の病院に、産科婦人科の医師として、参ります。

「看護師さんにお聞きしたいのですが、今日は、夜中に、お産の患者様が、来られたとき、どうしたらよいでしょうか？」

＜眼　科＞
～飯岡　葵～

この度、令和四年七月勤務します。岩手県出身で、筑波大学を卒業しました。茨城県内の病院に、勤務しました。

地元首都圏にあります。自然も、豊かな環境です。空気の綺麗な、茨城県で、働く魅力を感じました。

医療センターは、霞ヶ浦医療センターの、眼科と、横浜市の、病院に、参ります。

外科について

＜消化器外科部長＞
～岡﨑　雅也～

研鑽を積んでいきたい所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

当科は三名外科、二名の常勤医で診療を行っております。一般消化器・乳腺甲状腺外科の五名の腹部ヘルニアの診療に力を入れております。腹部ヘルニアは毎週月曜日午前に専門外来を開設しております。

当科では良性疾患では胆嚢結石、虫垂炎、憩室炎、肛門疾患（痔核など）、鼠径ヘルニア、乳腺症など、悪性疾患では胃癌、大腸癌、肝胆膵癌、乳癌、甲状腺癌など幅広い領域の疾患を対象とし、診療に当たっております。

外科のメインの仕事は手術をすることですが、良性疾患においては手術に至らないよう抗生物質にて治療をしたり、痔核に対し注射で治療を行うこともあります。術前や術後の胃カメラや大腸カメラなどの内視鏡検査や抗がん剤治療も行っております。

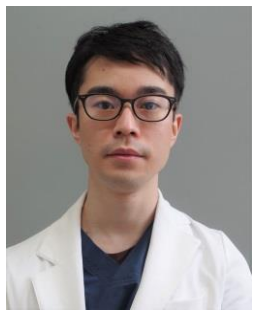
今年度から常勤医のメンバーも変わりチームは若返りました。引き続き開業医や他科の診療科とも連携をとり安全安心をモットーとした地域に貢献できる質の高い診療を目指しておりますので、気軽に受診ください。

●外科（外来担当日）

＜消化器外科部長＞
～岡﨑　雅也～
（月曜日専門外来・水曜日）

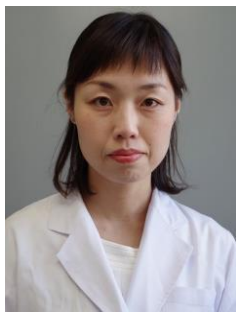
＜外科医師＞
～山田　嵩宜～
（金曜日）

＜外科医師＞
～鈴木　貴友～
（月曜日）



●乳腺・甲状腺（外来担当日）

＜乳腺・甲状腺外科科長＞
～田地　佳那～
（水曜日・木曜日）



脳神経内科について

＜外科医師＞
～島　正太郎～
（火曜日・木曜日）

常勤医の外来日以外は非常勤医師の影山隆久、矢野和仁、八代亨が担当しております。

＜脳神経内科科長＞
～山本　詞子～

みなさんは脳神経内科という病気につい診療してもらうのでしょうか。

脳梗塞、認知症、パーキンソン病、筋炎などの筋肉病気から、手足の末梢神経障害などの病気まで、脳梗塞とは、脳の血管が詰まることで起こる病気です。認知症とは、一度獲得した知的機能が低下し、日常生活に支障をきたすようになった状態のことです。パーキンソン病とは、黒質という脳の一部の神経細胞が変性し、ドーパミンという物質が減少することで、手足のふるえ、歩きにくさ、振戦（ふるえ）などの症状が出る病気です。筋炎とは、筋肉に炎症が起こり、筋肉の痛みや脱力感などの症状が出る病気です。

これらの病気は、身近な人が認知症になったり、ふるえが止まらなくなったりすることで、脳梗塞や認知症、パーキンソン病、筋炎などの病気は、誰にでも起こりうる病気であると思います。

「脳神経内科」と聞いて、「脳」を診る科、「神経」を診る科、「内科」に変更しました。「脳」を診る科、「神経」を診る科、「内科」から診療科名を「令和二年より「脳神経内科」に変更しました。「脳」を診る科、「神経」を診る科、「内科」から診療科名を「令和二年より」と紹介されていただいたと思います。

以前にも紙面でご紹介させていただいたことがあるかもしれませんが、脳神経内科は、令和元年度から常勤医二名体制となり、入院診療が行えるようになって四年目を迎えました。

脳神経内科の病気とは、異なる病気が他の臓器に、血液検査や画像検査などで、診断がつかない病気や、病変が見てもすぐに確認しにくい場合などです。

そのため、検査が多岐にわたることもあり、入院をしてもまとめて検査を行うことはできません。

リハビリテーションとは、特徴的な身体のリハビリテーションのことです。言語聴覚士という、いわゆるリハビリテーションを行う職種とも連携し、詳しい評価・対策・提供することも可能です。

当科は、月曜日、木曜日の一般診療は、火曜日の外来診療とリハビリテーションを設けておりますので、ぜひお忘れなくお越しください。

カンタンな話「脂肪肝と脂肪性肝炎」

＜消化器内科＞
～福田　邦明～

脂肪肝の原因は、食べ過ぎや太り過ぎが、肝臓に中性脂肪が過剰に摂取されることで、肝臓に脂肪が蓄積することです。アルコールが大量に分解されると、中性脂肪に変換されます。アルコールを過剰に摂取すると、肝臓で中性脂肪が合成されます。

脂肪肝の原因は、生活習慣病や薬剤、栄養障害などです。

脂肪肝は、肝臓に中性脂肪が蓄積する病気です。肝臓に中性脂肪が蓄積する原因は、アルコール性と非アルコール性に大別されます。

アルコール性脂肪肝は、アルコールを飲まなくなれば、肝臓に蓄積した中性脂肪は、肝臓から血液に放出されます。

非アルコール性脂肪肝は、肝臓に中性脂肪が蓄積する原因は、肝臓に中性脂肪を合成する酵素が、肝臓に中性脂肪を合成する酵素が、肝臓に中性脂肪を合成する酵素が